

競 技 注 意 事 項

- 1 本記録会は2022年度日本陸上競技連盟規則及び本記録会の申し合わせ事項により実施する。
- 2 点呼(100m ゴール後方)はプログラムに示された招集完了時刻までに張り出された点呼用紙の自分のビブス番号に○をし、トラック競技の場合は腰ナンバーを各自で取り招集完了時刻の5分後迄に現地集合し出発・跳躍・投擲系のチェックを受ける。本人が現地にいない場合は失格となる。
- 3 選手は、その競技に出場する以外はトラック・フィールドに立ち入ることはできない。
- 4 同時に2種目以上の競技に出場する選手は、その旨を必ず競技役員に申し出ること。
(トラック競技を優先とする)
- 5 トラック競技の走路順、フィールド競技の試技順はプログラムに記載された通りとする。
- 6 棒高跳におけるバーの上げ方は次のとおりとする。
【共通女子】練習 1m50 競技 1m60 ~2m60 までは 20cm 上がり
【共通男子】練習 1m60 2m10 2m60+希望 競技 1m60 以降 10cm 上がり
※開始のバーの高さは変更する場合もある。
※選手が1人になった場合、本人の希望によりバーを上げるものとする。
- 7 男女三段跳の踏切板の設定は当日審判長が決める。
- 8 混成競技の走高跳のバーの上げ方は次のとおりとする。
【中学男子】 練習 1m10 競技 1m15~1m50 までは 5cm 上がり 以降 3cm 上がり
【中学女子】 練習 1m05 競技 1m10~1m30 までは 5cm 上がり 以降 3cm 上がり
【共通男子】 練習 1m30 競技 1m35~1m70 までは 5cm 上がり 以降 3cm 上がり
【共通女子】 練習 1m15 競技 1m20~1m40 までは 5cm 上がり 以降 3cm 上がり
- 9 ポール以外の用器具は競技場備え付けの物を使用する。ただし、投てき用具は検定の上使用してもよい。
- 10 競技場はトラック・フィールドとも全天候型ウレタン舗装のため、全天候型スパイクピン(9mm以下)を使用しなければならない。

※ 砲丸の重さ

区分	高校男子	中学男子	女子	中学女子
重さ	6.000kg	5.000kg	4.000kg	2.721kg

※ 円盤の重さ

区分	一般男子	高校男子	中学男子	女子
重さ	2.000kg	1.750kg	1.500kg	1.000kg

※ハンマーの重さ

区分	一般男子	高校男子	女子
重さ	7.260kg	6.000kg	4.000kg